

# 求められる精神保健福祉士の 役割について(案)



# 制度創設当時に求められた精神保健福祉士の役割

## 精神障害者の社会復帰を支援する人材

長期入院患者を中心とした精神障害者の地域移行が進んでいない状況にあり、地域移行を促進することが精神保健福祉行政の最大の政策課題の1つであった。

これらの精神障害者については、医療的なケアの対象者として位置づけられ、退院するための環境整備等が行われない状況にあり、地域移行に関する問題を、医療とは異なる観点で、精神障害者の視点に立ち、社会復帰のために必要な医療的なケア以外の支援を行う人材が求められた。



PSW(精神科ソーシャルワーカー)の国家資格化 = 精神保健福祉士の誕生

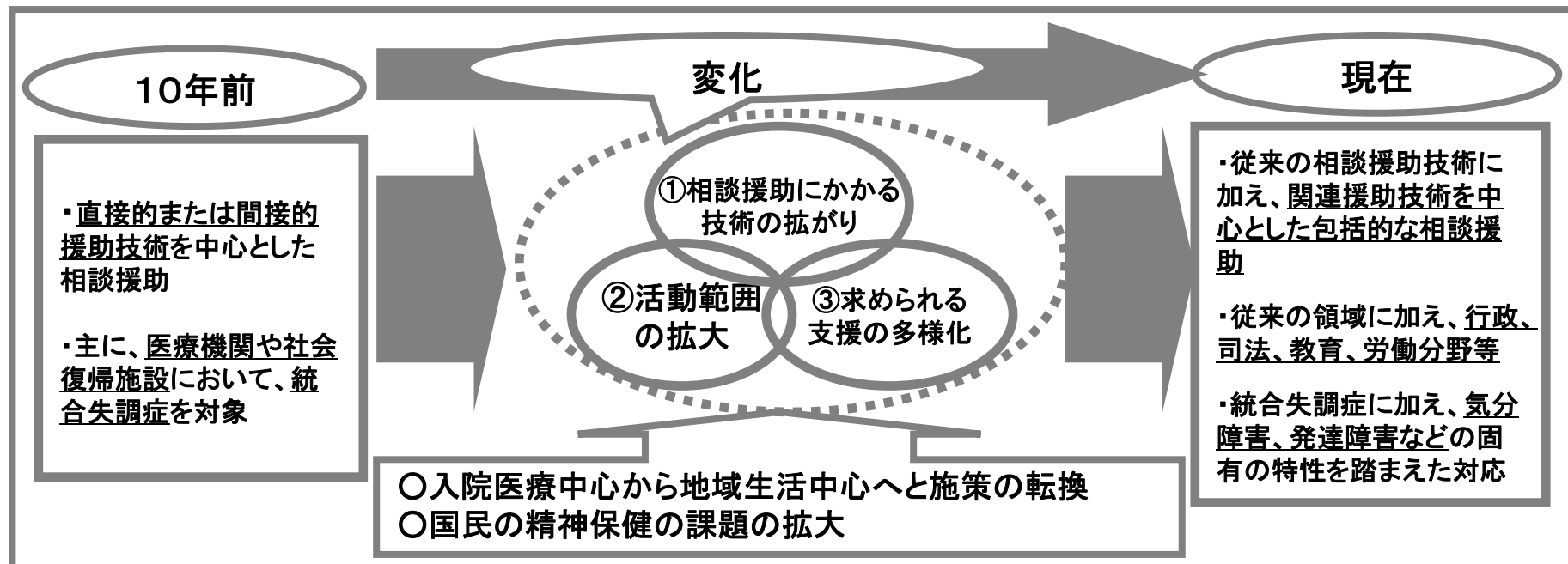
### (精神保健福祉士の定義)

第2条 この法律において「精神保健福祉士」とは、第28条の登録を受け、精神保健福祉士の名称を用いて、精神障害者の保健及び福祉に関する専門的知識及び技術をもって、精神科病院その他の医療施設において精神障害の医療を受け、又は精神障害者の社会復帰の促進を図ることを目的とする施設を利用している者の社会復帰に関する相談に応じ、助言、指導、日常生活への適応のために必要な訓練その他の援助を行うこと(以下「相談援助」という。)を業とする者をいう。

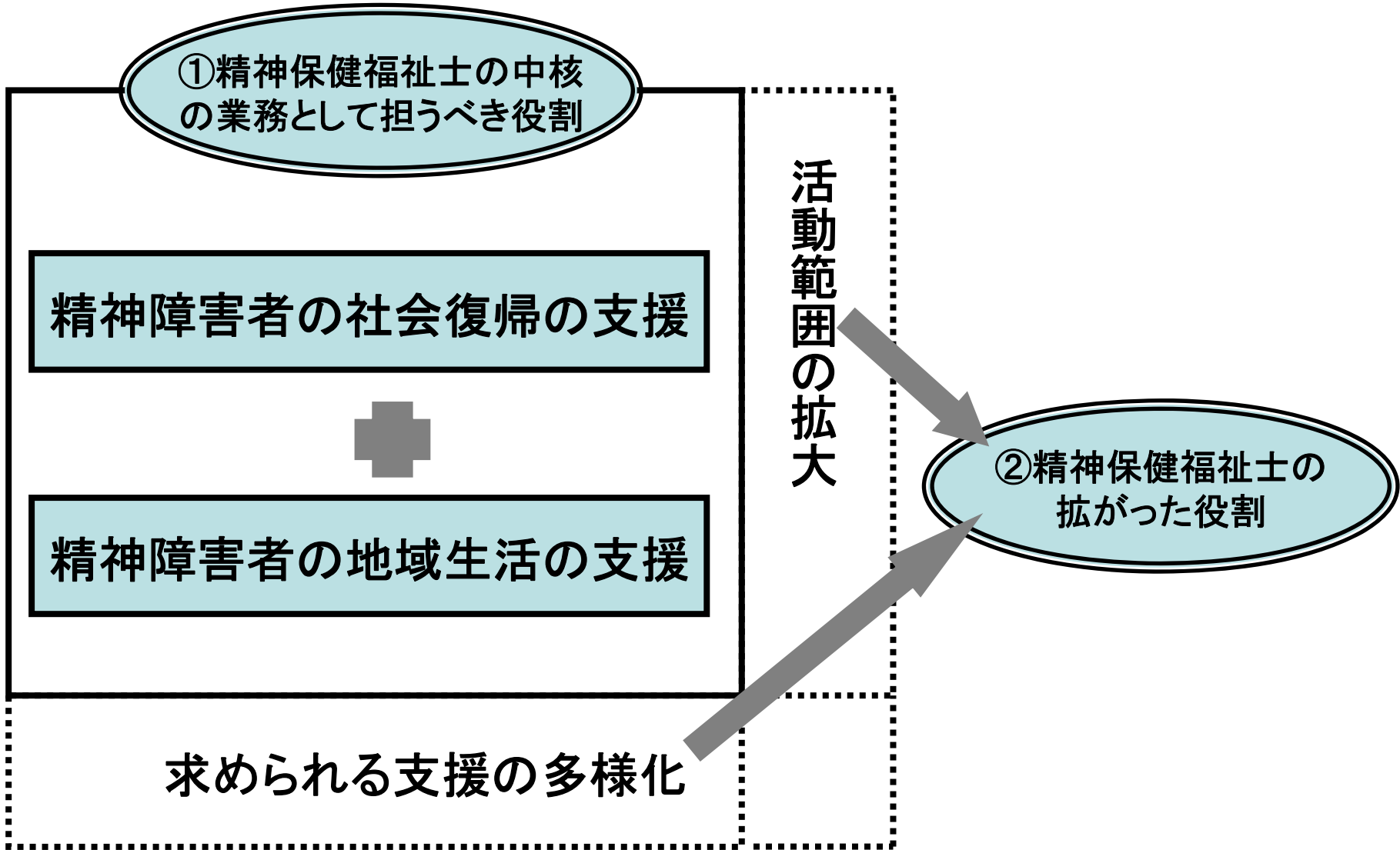
# 精神保健福祉士の役割の変化について

精神保健福祉士制度の施行から現在に至るまでの間に、精神保健福祉士の役割については、

- ① ノーマライゼーションの理念に基づき、相談援助にかかる技術の拡がり、
  - ② 精神保健の課題の拡がりに伴う活動範囲の拡大、
  - ③ 精神保健の課題の拡がりに伴う求められる支援の多様化
- といった点で、変化があったところである。



# 求められる精神保健福祉士の役割について



## ①精神保健福祉士の中核の業務として担うべき役割

医療機関等において精神障害者の社会復帰を支援する役割については、今後も中核の業務として担うべき重要な役割であり、これに加え、精神保健医療福祉施策の理念を推進していく上で、精神障害者の地域生活を支援する役割がより重要となっている。

これらの役割が、精神保健福祉士の中核の業務であり、精神障害者を支援する専門職種として担うべき最も重要な役割である。

# 精神障害者の社会復帰及び地域生活の支援をする役割

## 具体的な役割

精神障害者の権利擁護や主体性を尊重し、医療機関等からの早期の社会復帰及び安心した地域生活を送るために

- 援助の方向性を明らかにし、一貫性を保つための援助計画の作成や日常生活能力の向上のための指導や生活技能訓練、退院のための家族環境の調整
- 在宅医療・福祉サービスの調整や住居の確保・日常生活上のスキルの向上のための訓練等の居住支援、就職に向けた相談・求職活動・職業生活での環境調整等の就労支援
- 地域住民に精神障害者の理解を求めるとともに、他職種・関係機関・ボランティアと連携し、必要な社会資源を整備、開発するための地域づくり

上記の役割を適切に遂行するために、従来からの相談援助技術に加え、包括的な相談援助を行うための関連援助技術として以下のようなものが必要である。

- 多様化するニーズに対し、適切なサービスに結びつけ調整を図るとともに総合的かつ継続的なサービスの供給を確保するためのケアマネジメント
- 相談内容に関し適切に問題を解決するために、他の分野の専門家との助言に基づくコンサルテーション
- 人的・物的資源の連携により、提供するサービスの充実や効率化、継続性の確保などのためのネットワーキング等

## ②精神保健福祉士の拡がった役割

精神保健福祉士制度の施行から現在に至るまでの間に、精神保健の課題の拡大を背景として

1. 職域の拡大に伴う役割
2. 求められる支援の多様化に伴う役割

が拡がってきた。

## ②-1 職域の拡大に伴う役割

### 具体的な役割

- 行政に関する分野
  - ・ 精神保健福祉センター、保健所に加え、市町村等において、地域の精神保健医療福祉施策を推進する役割
- 司法に関する分野
  - ・ 心神喪失者等医療観察法における社会復帰調整官及び精神保健参与員
  - ・ 矯正施設において、出所する者に対する地域生活の定着のための支援を行う役割
- 教育に関する分野
  - ・ 学校等において、いじめや不登校、教員の精神疾患罹患者の増加などを背景に環境調整等の支援を行うスクールソーシャルワーカー
- 労働に関する分野
  - ・ ハローワークにおいて、精神障害者の求職者に対して、就労支援を行う精神障害者就職サポーター
  - ・ 精神疾患により休職中の者の職場復帰支援などを行う役割 等

## ②-2 求められる支援の多様化に伴う役割

### 具体的な役割

近年、精神疾患を有する者が300万人を超えるなど、精神保健に関する課題が増大し、精神保健福祉士の活動する範囲が拡大する中、これまでの統合失調症のみならず、各々の疾患に対して、固有の特性を踏まえた適切な対応も求められている。

○大きく変動し続ける社会情勢や長引く経済不況の中、様々な慢性的ストレスが日常生活の中に蔓延することにより大きく増加しているうつ病等の気分障害・ストレス性障害

○着実に進んでいる人口の高齢化に伴い、大きな社会問題となっている認知症

○人口に占める割合は高いにも関わらず、これまで十分な対応がされてこなかった発達障害 等